



冬はゴキブリ、どこへいく？



「ゴキブリは寒さに弱いから、冬はいなくなるだろう」と思っていませんか？実は、これは大きな誤解です。

ゴキブリは冬眠をしません。寒さで体が動かなくなるため、暗くて湿り気があり、風通しの悪い場所でじっと過しています。眠っているわけではないので、暖かければ冬でも活動します。

とはいえ、冬はゴキブリにとって厳しい季節。だからこそ、「見えないゴキブリ」対策が重要です。まず知っておきたいのは、ゴキブリが好む環境です。湿って風通しの悪い場所を好み、屋内ではシンク下やトイレの裏、屋外では落ち葉の下や排水溝の周辺などが「冬の隠れ家」になります。気温が下がると動きが鈍くなるぶん、暖かく湿った場所に集まりやすくなります。さらに注意したいのが、排水管の内部です。

排水管内は外気より温度が高く、常に湿気があり、ゴキブリにとって快適な環境です。冬場に屋内で見かけるゴキブリは、この排水管を経由しても屋内に入り込んできます。特に厨房や給湯室など、水を使う場所は要注意です。

今回は排水管に取り付ける逆流防止弁「グリーンドレイン」をご紹介します。これは排水口からの悪臭や害虫の侵入を防ぐもので、外からの侵入経路を物理的に断ち切る効果があります。

厨房やトイレ、食品を扱う施設では、むき出しの排水管口に導入することで大きな安心につながります。

また、意外な潜伏・侵入経路として、電気機器周辺もあります。コピー機や自動販売機、冷蔵庫の裏やコールドテーブル内など、電気で熱を持つ機器や配電盤の内部に入り込むケースが

表. グリーンドレインのご紹介

取り付け方法は排水管口にはめるだけ
排水の邪魔にもならず、逆流防止弁で虫にもいも上がってこない！



グリーンドレインの構造

少なくありません。ほのかに暖かい電気設備内は格好の活動拠点になってしまうのです。

冬のゴキブリ対策のポイントは、「見えない環境」に目を向けることです。暖かさ・湿度・隠れ場所という三つの条件をどうケアするかが、春以降の発生を抑えるカギになります。

「冬にゴキブリを見かけない≠いなくなった」。実際にはまだいるかもしれません。生態を理解し、屋内外の環境を整えることこそが、本当の意味での防除につながり、冬のうちにゴキブリ対策をしておくと来年はぐっとゴキブリが減るかもしれませんね。

今月の

豆知識

ゴキブリの親戚の意外な昆虫、知っていますか？



嫌われ者の虫の代表といえば「ゴキブリ」でしょうか。そのゴキブリの親戚には意外な虫がいます。家を食べるシロアリ、草むらのハンター・カマキリです。これらは姿も生き方もまるで違いますが、遺伝子研究で同じご先祖さまをルーツに持つことが明らかになっています。

そのご先祖さまは約3億年前の古生代にいた肉食の「プロトファスマ」という昆虫であったと考えられています。ここから、肉食を受け継ぎ、獲物をがっちり捕まえる前脚を発達させたカマキリが分かれ、肉食から腐食性となって木材を食べる習性を持ったシロアリが分かれ、残ったものが「ゴキブリ」になったといわれます。三者が枝分かれした時期は、カマキリは恐竜が出現した頃の2億6,000万年前、シロアリはもっと後の1億5,000～

7,000万年前頃だと考えられています。シロアリは社会性を獲得し、女王や兵隊アリの役割分担をもつ大きな集団を形成するようになりました。シロアリは分類学上ではかつて独立した「等翅目（シロアリ目）」という分類を構成していましたが、今ではゴキブリ目シロアリ科に統合されています。つまりシロアリは、ちょっと変わったゴキブリの仲間とされています。

ゴキブリとカマキリも見た目は全く異なるようで、脚に生えた太い毛、翅脈や翅の使い方、産卵方法など、少し似ているところもあります。すでに「網翅目」としてカマキリ、ゴキブリ、シロアリをまとめる考え方もあるようです。ひょっとすると将来は「カマキリはゴキブリの一種」、という解釈になってしまうかも？